

1 防災行政無線通信網の概要

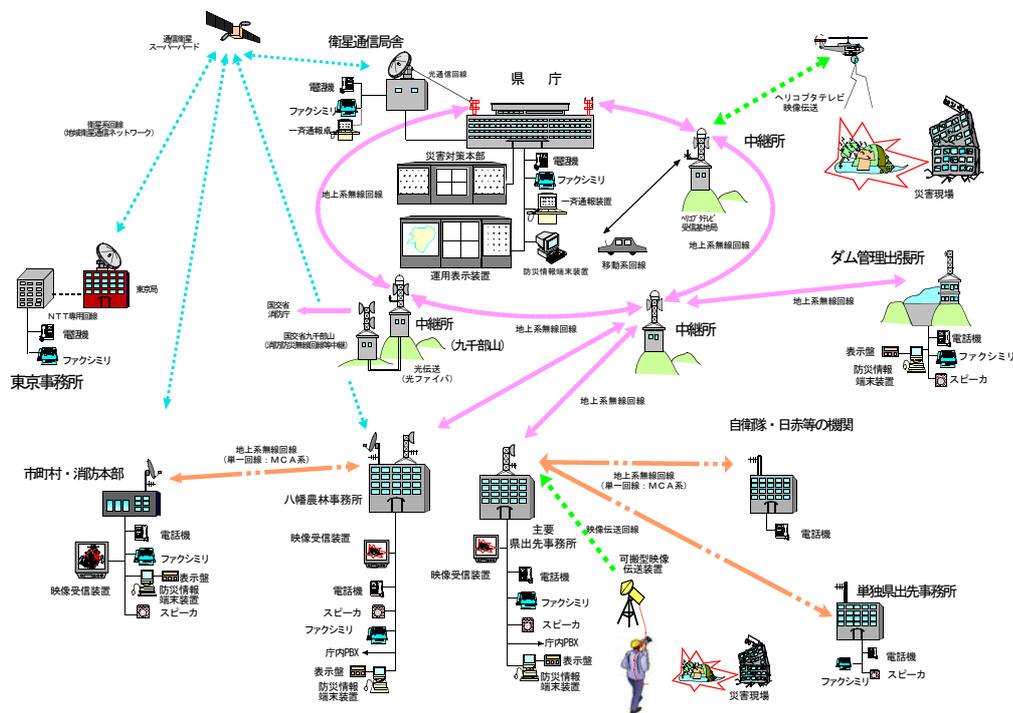
(1) 福岡県防災・行政情報通信ネットワーク

各種災害から県民の生活・財産を守り、災害に対する予防・応急復旧等の業務を迅速・的確に処理し、防災対策の強化を図る必要から、昭和57年2月に県と市町村（消防本部を含む）及び県出先機関並びに防災関係機関との間に無線電話回線を構成して、防災に関する情報の収集・伝達に成果をあげてきた。

また、今日の防災行政の高度化、多様化への対応と平常時における一般行政への活用を図るため、平成9年度から11年度にかけて、新しく「福岡県防災・行政情報通信ネットワーク」（ふくおかハイパーネット）を整備し、平成12年4月に運用を開始している。

この「ふくおかハイパーネット」は、地震等による大規模災害にも対応できる災害危機管理システムであり、防災情報システム、映像情報システム等を導入、通信機能の高度化を図り、県庁と国、市町村、防災関係機関を結び、防災及び行政の情報を伝達する通信ネットワークとなっている。

福岡県防災・行政情報通信ネットワーク（ふくおかハイパーネット）概念図



(2)市町村防災行政無線網

市町村は、防災活動の第一機関として、直接地域住民に対する気象・予警報の伝達、避難の勧告、指示等を行うとともに、災害予防、応急対策、災害復旧対策等を実施するため重要な責務を有しており、さらに、地震・津波情報の伝達体制の整備が急務となっている。

このため、市町村においても、近年各地で多発している大災害の教訓をもとに市町村防災行政無線の整備を推進している。

市町村防災行政無線の整備状況

平成18年4月現在

(数字は設置年度を示す)

市町村	同報	移動	地域防災
北九州市		3	
福岡市			4
大牟田市			9
久留米市	6	6	8
飯塚市	11	11	
田川市	59	59	
柳川市		63	
小郡市		8	
筑紫野市		10	
春日市		14	
大野城市	16	17	
宗像市		60	
太宰府市		48	
前原市	8	9	
古賀市	12	12	
福津市		51	3
うきは市	6	6	
嘉麻市	59	5	
朝倉市		2	
宇美町	11	11	
篠栗町	63	59	
志免町	60	60	
須恵町	8	8	
新宮町	12	17	
粕屋町	17	56	
水巻町		14	
岡垣町		6	

(数字は設置年度を示す)

市町村	同報	移動	地域防災
遠賀町		14	
小竹町	15		
鞍手町		59	
筑前町	9	4	
東峰村		17	
二丈町	10	10	
志摩町	9	9	
黒木町		10	
上陽町		58	
立花町		8	
広川町	7	7	
矢部村		8	
星野村	59	5	
瀬高町		3	
山川町		12	
高田町		7	
香春町	16	2	
添田町		57	
福智町	16		
糸田町	10	11	
川崎町		6	
大任町	12		
赤村	17	61	
みやこ町	12	53	
吉富町	6		
上毛町	1	1	
築上町	11	11	

同報系整備率 29/69(42.0%)

移動系整備率 50/69(72.5%) ※地域防災系を含む

全体整備率 54/69(78.3%)